



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2008 7

Bulletin

2008. 7. 1. 発行
第26巻 第1号 通巻300号

CHARTERED 28 Sep. 1983

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒604-9083 京都市中京区三条柳馬場角
☎(075)231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ主題

Let's begin

— すべての共生に向かって —

国際主題	「希望の灯となろう」 ^{ともしび} “Be the Light of Hope” わかち合いは微笑みをもって	IP V. S. Bashir (インド)
アジア主題	「希望の灯となろう」 ^{ともしび} “Be the Light of Hope” より良き奉仕のために共に働こう	AP Rita. Hettiarachchi (スリランカ)
西日本区主題	「思いやりを持ってワイズライフを！」— わかち合いは微笑みをもって —	RD 佐藤 典子 (熊本ジェーンズ)
京都部主題	「意識を持って活動に参画しよう！」— 〇〇〇〇 実現に向けて —	DG 藤田 寿男 (京都ウイング)
メネット主題	「小さな奉仕は大きな喜び」 広げよう地域へ “メネットのねがい”	RSD 田上 かつみ (熊本むさし)

会長/香山章治
副会長/田中雅博
山田英樹
書記/竹田博和
八木悠祐
会計/山口雅也



聖句

「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」

(使徒言行録 8 章31節)



「Let's begin」 — すべての共生に向かって —

会長 香山章治

今期我がキャピタルクラブは25周年を迎え、その記念すべき期の会長をさせていただくことに、まずもってメンバーの皆様全員に感謝申し上げる次第でございます。

また、私自身しっかり会長職を全うしたいと思う所存でございます。

今期の会長主題は「Let's begin」— すべての共生に向かって — とさせていただきます。

京都キャピタルワイズメンズクラブは、25年の輝かしい足跡を経て、メンバー全員がクラブ活動を通して自己研鑽をしながら世の為、人の為、YMCA の為ボランティア活動を続けて参りました。ワイズの中では、25周年というのは特に記念すべき節目の年にあたると聞いております。

その記念すべき年に先人達が積み上げてこられた実績・名誉・キャピタルスピリッツというものをベースに、YMCA サポートをモットーに新たな地域社会に密着した支援先・支援方法・環境問題への関わり方、メンバー増員等、また新た

な気持ちでスタートし、これからの新しい25年を作り積み上げていく、その一つひとつの「さあ 始めよう！」でありたいと思います。

メディアでは毎日、目を覆いたくなるような殺伐としたニュースが飛び込んできます。隣人を思いやる優しい気持ちはどこへ行ってしまったのでしょうか。とても悲しいことだと思います。こんな時代だからこそ、あえて“共生”という言葉を出して、隣人との身近なお付き合いから地球と環境というグローバルな分野まで“共生”ということを意識し、自分だけ良ければいいという考えではなく、出来るだけ気持ちに余裕と優しさを持って、困った人に手を差し伸べ、そして私たちの子孫の為に素晴らしい地球環境を残してあげる。そんな人間になることを目標に、クラブを通して出来ることから少しずつ実践していきたい、その一心であります。

去る5月23日キャピタルクラブ初代会長 堀 一行さんが逝去されました。メンバー全員が深い悲しみの中にあり、その気持ちは今も癒えませんが、天国におられる堀さんと共に、この25周年を迎えたいと思います。

今期25周年記念事業を行い、お祝いムードになることと思います。しかし、ここに述べさせていただいたことをメンバー全員しっかりと意識し、地に足を着けながら、進んでまいりたいと思います。

どうぞ今期1年宜しくご指導の程お願い申し上げます。

西日本区
強調月間

7月

Kick-off EMC-C

例会の充実。親睦と奉仕、自己研鑽、おおいにビジョンを語ろう。

阪田 民明 EMC 事業主任
(京都グローバルクラブ)

「6
月
報
告」



例会出席

在籍者数	30名
第一例会	26名
第二例会	28名
メネット	8名
特別メネット	1名
出席率	100%



BFポイント

切手	0g
現金	0円
累計切手	5,208g
※切手	2,400円
累計現金	64,680円
JWF	0円
E F	15,000円
JWF累計	0円
F F累計	0円



ニコニコ

第一例会	18,000円
第二例会	0円
累計	253,000円



ファンド

その他	0円
累計	783,412円



献血

献血成分	0cc
累計成分	0cc
成分累計	0名



125周年
募金

第一例会	3,573円
第二例会	0円
累計	277,729円

※切手を600円/Kで換算分

— 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集 —

悲しみと決意の第一例会

暮らしと歯 — 歯科予防教育の必要性

仁科 保雄



京都キャピタルクラブ初代会長 堀 一行さんのご逝去を悼み、メンバー一同が思い出とともに黙祷をささげました。山田会長のご挨拶の中にも凶り知ることの出来ない悲しみ、寂しさと、言いようのない言葉が詰まっていたように思います。

これからも今までと変わら

ずクラブの活性を考え、堀さんの築かれたワイズの活動方針を守り、より素晴らしいクラブになることが私たちに出来る唯一の使命と考えています。

本日のご講演は岩坪歯科院長 岩坪吟子様「暮らしと歯 — 歯科予防教育の必要性」という、いま治療も予防も必要なメンバーが多く見受けられる中で、スライドでわかりやすくネパールへ診療活動に参加され、その人々の暮らしの中でいかに「歯」が重要で大切にしなければならないかを痛切に感じられたご講演でした。岩坪先生の迫力とユーモアの交差するお話に何名かが早速治療に行くとの事でした。

衛生士の柴田知美様にも衛生士の仕事を理解してほしいとの説明もあり、色々な仕事に携わっておられる方がおられることで、私たちが安心して歯科の治療や予防が出来ていると実感出来ました。

その後はハッピーバースデーならびにアニバーサリーを祝い、なにかほっと心に温かみを感じられた例会でした。

6月第二例会

2008年6月21日(土) 18:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

内容のある素晴らしい引継例会

瀬本 純夫

午後6時、山田会長による開会の点鐘で引継例会が始まりました。時間ぎりぎりまで到着した会長、何となく「らしいなっ」と言う気がしました。

今期最後の会長挨拶に続き、西日本区大会で表彰のあった石倉さん、仁科さん、山田英樹さん、瀬本にアワードの伝達があり

ました(3頁参照)。続いて本年度の200%表彰、25年・10年会員表彰、そして、京都部のYサ主査としてこの一年頑張られました竹田さんへの労いと順調にプログラムが進み、その後、乾杯に続き歓談のひとつ時がもたれました。その中、柳PT長の解説でこの一年を振り返るスライドが上映され、大いに盛り上がりました。これまでになかった企画で大変楽しめました。

食事後、パープ

ル賞の発表が行われ、記念の品が委員長に手渡されて、最後のパー



プル大賞には、ドライバー委員会委員長山田英樹さんが2度目となる受賞をされました。会長の思いに沿われた例会運営、また、3名ものメンバーのスポンサーとして大いなる活躍をされて、みんなが納得の受賞となりました。

その後、役員引継ぎです。各委員長の握手での引継ぎに続き、三役の引継ぎでバッチの装着と順調に行われていきました。

また、今期も会長を十二分に支えられました山田メネット会長から香山次期メネット会長への引継ぎも行われました。

そして、この一年会長として大いなる活躍を見せられた山田会長より、次期25周年となる区切りの会長となられる香山次期会長への引継ぎです。ほっとされた表情の山田会長より、グッと引き締まった表情の香山次期会長へのバッチの引継ぎが行われ、山田会長には大門直前会長より元会長バッチが装着され、無事終了いたしました。

香山次期会長より次期に思いを込めた挨拶、また25周年記念例会に賭ける思いが語られ、役員紹介のあと、大門直前会長より山田会長へのスライドを使った労いの言葉が述べられました。それに応える形で山田会長の謝辞があり、会長の感極まった姿が印象的でした。最後の点鐘のあと、恒例の胴上げが行われ、お開きとなりましたが、内容の濃い、素晴らしい引継例会に出席できたこと、大変嬉しく思いました。

山田会長本当にご苦労様でした。香山次期会長、これからの一年頑張ってください。

表彰と感謝

ホームクラブ200%表彰

石倉、勝山、金原、瀬本、竹田、柳、山田隆之、山田英樹

メーキャップ200%表彰

岡島、香山、神崎、田中、仁科

10年会員 田中、山田(隆)

25年会員 石村、内廣、大山(孜)

感謝慰労 京都部 Yサ・ユース事業
主査 竹田 博和

パープル大賞 山田英樹ドライバー
委員長

パープル賞 各委員長

瀬本、仁科、岡本、八木、幡南、石倉、山田まゆみメネット

感謝慰労

三 役 堀副会長・柳副会長
岡島書記・金原書記
田中会計・森(繁)会計

第11回 西日本区大会 850名が集う

2008年6月14日(土)～15日(日) なら100年会館&ホテル日航奈良

皆さんの参加 ありがとう

会長 山田 隆之
交流委員長 岡本 尚男

「なら100年会館」において850余名のメン、メネットが参加し第11回西日本区大会が盛大に開催されました。午前中の代議員会に引き続き、第一部の開会式が始まりました。幕が開くと、予め全クラブの会長がバナーを手に区役員と雛壇に整列し、舞台中央に備えられた大きなスクリーンに、プログラムの進行に合わせた登壇者の姿が大きく映し出され、至る所でIT技術を活用した演出が見られ、観客席の会員も一緒に楽しめるように工夫されたホストクラブの配慮が光る演出でした。



大阪産業大学文化吹奏楽部のオープニングセレモニー演奏のうちに、リジョンフラグの入場があり、中部から順にクラブ名とクラブ人数が紹介されました。続いて神谷理事による開会宣言、点鐘、吹奏楽の伴奏でワイズソング、賛美歌312番斉唱、歓迎挨拶、来賓祝辞に続きメモリアルアワーになりました。

プログラムには11名の方が掲載されていました。堀さんともうお一方は5月末日に近いご逝去のため掲載されていませんでしたが、遺影と哀悼の辞は間に合いました。大きく映し出された堀さんの遺影に涙する方も多かったようで、何人もの方からその早すぎる死を惜しむ慰めの言葉を頂きました。その後、区理事報告、代議員会報告があり、天理大学雅学部による雅楽と舞楽が披露され休憩となりました。

休憩後、事業主任報告、部長報告、奈良傳賞授賞式があり、京都クラブの森健一さんもその栄に輝きました。

懇親会は、「ホテル日航奈良」に会場を移し、多くの方々や東日本区からの皆さんと懇談のひと時を持ちました。東京クラブからは露崎さんと持田さんが来られていて再開を喜び、舞台



メモリアルアワーで紹介



堀 一行さん 63歳、5月23日、逝去

1977年、京都パレスクラブに入会後、1993年京都キャピタルクラブ設立に参画。初代会長に就任。その後、クラブ発展の原動力として、会員を増やし、厳しさと優しさを織り交ぜながら多くのワイズメンを育て、常にクラブの大黒柱として君臨し、会員の尊敬を一身に集めていました。

その間、阪神淡路大震災の時には日本区書記として理事を支えました。また、1999年から京都 YMCA 常議員として物心両面で経営再建に辣腕を振るい、2006年からは日本 YMCA 同盟常議員も務めていました。31年間に亘り本物のワイズメンとしての生涯でした。

表彰

Yサ・ユース事業

Yサ・ASF 自由献金達成賞 (22クラブ中)

地域奉仕・環境事業

1. 優秀クラブ賞
「第22回視覚障害者 "ふれあい広場" 支援活動」
視覚障害者の方々の交流会の支援を継続している
2. TOF 献金上位 (5クラブ中) 5位
3. CS・TOF・FF 献金トリプル達成賞 (23クラブ中)

EMC 事業

1. 優秀ワイズメン賞 山田英樹さん
2. 青年会員獲得賞 (13クラブ中)
3. 出席率90%以上賞 (29クラブ中)

上で写真を撮りました。2010年、横浜で開催される国際大会と来年、十勝で開催される東日本区大会のアピールもありました。

翌日は聖日礼拝の後、各種表彰がありキャピタルクラブも別表のような表彰を頂きました。担当された委員長のご苦勞に感謝いたします。理事引継式は京都ウエストッククラブの森田さんの司式で、神谷尚孝理事から佐藤典子次期理事にバトンが渡され、他の役員の引継ぎも厳かに行われ、次期熊本で開催される大会のアピールと再会を約して、賛美歌405番を斉唱して12時に閉会しました。

一年間の皆様のお力添えと、区大会に参加された皆様から心からの御礼を申し上げます。やはり多くの皆さんの参加は、会長の立場になると本当にありがたいと思えました。次期は熊本へ香山会長を応援に行こうと決意を新にして会場を後にしました。

出席者：石倉尚、岡本尚男、香山章治、田中雅博、仁科保雄、竹田博和、柳 慎司、村田深砂子、山田英樹、山田隆之、岡本都、仁科節子、山口弘子、正子・ダルマパーラン、柳 早知子、山田まゆみ

'08~'09年度 事業計画

西日本区

理事方針

理事 佐藤 典子

理事主題

「思いやりを持ってワイズライフを！
— わかち合いは微笑みをもって —

皆さんのクラブはワイズメンバーやメネット、ゲストの笑顔であふれていますか、心温まる例会ですか。

社会奉仕クラブである私たちワイズで最も大切なことは、親睦を源とする活発な奉仕活動からリーダーシップを生み出す自己研鑽ではないでしょうか。メンバーがお互い思いやりを持って例会に参加すれば、おのずとその例会は楽しいものになるでしょう。また、自分のクラブにとどまらず、部会や区大会、周年例会などのいろんな行事に参加したり、他クラブの例会を訪問したりすることで多くのワイズメン・メネットと出会い、心が温められ、学びがあり、私たち自身の成長につながるようです。そして、そのことは活発な奉仕活動、より良い世界の実現につながるのではないのでしょうか。

2002~2003年度、私は九州部長として活動テーマを「今一度、考えよう — ワイズの理念」と掲げました。ワイズの理念、国際憲法では「相互理解と敬愛の思いに結ばれて、…人々が共に働く、世界的友好団体であり」と記載されております。私が先ほど申し上げた「メンバーの笑顔」や「心の温かさ」は私たちワイズの基礎となるビジョンではないのでしょうか。

私が好きな「マザーテレサの祈り」に次のような祈りがあります。

私が屈辱を味わうとき
だれかを誉めてあげられますように。
気が滅入るとき
だれかを力づけてあげられますように。
理解してもらいたいとき
理解してあげられる相手と出会えますように。
かまってもらいたいとき
かまってくれられる相手に出会わせてください。
私が自分のことしか頭にないとき
私の関心が他人にむきますように。

「与えること」は、「貰うこと」と同じと言う言葉があります。このマザーテレサの祈りは、私たちが奉仕を行う時、施しでなく、友人として共に生きようと語りかけているようです。そして、身近にいるクラブメンバーと接する時の心もまた同じではないのでしょうか。

親睦の力は奉仕として社会へ放出され、奉仕クラブと定義づけられます。また、社会奉仕を通して築く友情もあるでしょう。クラブメンバーとしての友情、ワイズメン・メネットとしての友情、私たちは共に活動する仲間としてワイズメンズクラブを確固たるものとすべきでしょう。

熊本 YMCA 3 年計画の聖句は、「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことである。」(マタイ25:40)です。クラブ内での親睦、その思いやりの心が、メンバー相互の心遣いとなれば素晴らしいクラブになるでしょう。

う。そして、素晴らしいクラブが、社会奉仕へつながり、その活動からワイズメンとしての感動が生まれます。今日、格差社会と言われる中で、私たちワイズは大切なことを見失わないように活動を進めてまいりましょう。

私たちワイズのパートナーであります YMCA は、公益法人に関する法律の改革への対応を進めていらっしゃいます。私たちは、YMCA の会員運動を担っているのはワイズだとの自負を持って、積極的に YMCA の活動にも参加いたしましょう。また、YMCA に集うユースやリーダー、そしてスタッフにワイズの活動を理解してもらいましょう。私たちは YMCA 活動を担う青少年を理解しましょう。

次年度は、デンマークで国際大会が開催されます。ご存知のように2010年の国際大会は横浜での開催です。たくさんの皆さんが、デンマーク国際大会に参加され、また、多くのユースが国際ユースコンボーションに登録され、2010年の PR にご協力をいただければ幸いです。その準備も進められます。準備委員ばかりでなく、皆さんの積極的な参加をお願い申し上げます。

そして、西日本区大会は、2009年6月6日から7日に熊本市民会館とホテル日航熊本で開催いたします。第1回の西副区大会から15年、熊本の7クラブ150名が皆様へのホスピタリティーを発揮すべく準備を開始いたしました。ぜひ、最優先で九州への旅をご計画下さい。たくさんの皆さんのご参加をお願い申し上げます。

より思いやりのあるワイズライフを皆様とともに実現いたしましょう。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

重点目標

1. 会員増強 EMC、広報

「西日本区2000推進チーム」(EMC 事業委員会小委員会)も、今期結成から3年目になります。松岡委員長のもと、委員の皆様が部会や各クラブを訪問して会員増強にがんばっていらっしゃいます。目標達成に向けてがんばりましょう。

クラブ活性化の為にも、西日本区の増員のためにも女性メンを増やしましょう。

広報=EMC で会員増強に繋げましょう。ワイズメンズクラブのリーフレットも活用いたしましょう。

2. 「YMCA 運動の担い手として」 YMCA サービス・ユース

日本 YMCA 同盟・地域の YMCA は、事業計画を掲げ、公益法人改革への取組を進めています。YMCA の運動を担うワイズとの自負を持って積極的に参加しましょう。ワイズからの支援が、大きな力となっています。YMCA サービス・ASF ファンドの目標を1,500円/人以上お願いいたします。

3. 「心配りのクラブ運営」

LT の強化、地域奉仕と環境、交流、広報、メネットクラブの親睦を源とする奉仕活動は、リーダーシップの開発につながります。クラブや部の運営のため、ワイズ理解を進めましょう。次期役員及び次期会長・主査研修会の充実を図ります。

また、各クラブの地域奉仕への取組をサポートしたいと思います。特に、会員数の少ないクラブが地域奉仕を通じて EMC や広報を行う場合、その支援に配慮したいと思います。新しい事業「環境」として、各クラブ何か1つ環境に関する取り組みを試みるという働きかけをしたいと準備されています。各事業のひとつひとつが、有機的に機能して、「心豊かなクラブ運営」に結びついていただければ幸いです。

メネット国内プロジェクトは「子ども・地域」をキーワードにした奉仕活動を支援したいと準備されています。

京 都 部

部長方針・活動計画

部長 藤田 寿男

1. 部長主題

意識をもって活動に参画しよう！

— 555 実現に向けて —

2. 活動方針

前期目指した京都部555名は今期十分実現可能な数字である。メンバー増強はクラブ活性化の大きな要素、且つ、クラブ活性化の中からしか実現しない、との認識のもとで積極的な活動への参加を今期の主題とし、京都 YMCA と各クラブの相互理解をより一層深めて協働の機会を拡げ、それぞれのクラブが自クラブの充実とクラブを越えた連携を図り、メンバー増強に合わせて YMCA 運動やワイズ活動を広く展開していくための働きをする。

3. 活動計画

- ① 京都 YMCA とのより一層の相互信頼関係を築き、お互いの発展に寄与する。
- ② 国際や西日本区の情報をタイムリーに各クラブに伝え、主査を媒体としながら、クラブを越え、また、国境を越えてクラブ間の連携を強めることで、各事業のボトムアップを図る。
- ③ リーダー・留学生・ワイズリング等との交流を密にし、青少年育成のための具体的施策を進める。
- ④ クラブで展開できる環境問題への取り組みを進める。
- ⑤ 西日本区2000推進チームのツールを活用して、例会の充実と規律ある運営を図り、退会者減・入会者増の具体的施策を講じていく。

4. 部 役 員

部長・藤田寿男(京都ウイング) 直前部長・新山兼司(京都トップス) 次期部長・山中将平(京都洛中) 監事・大槻信二(京都センチュリー) 書記・谷口 豊(京都ウイング) 事務局長・中西康晴(京都ウイング) 会計・島本浩晃(京都ウイング) 代議員・新山兼司(京都トップス) 代議員・藤田寿男(京都ウイング) 連絡主事・西岡義郎(京都 YMCA)

事業主査活動方針

Yサ・ユース事業主査 上原 康(京都グローバル)

主 題:「楽しく参加・進んで行動」

抱 負: Yサ・ユース事業の活動を再確認し、多くのメンバーに理解と参加をしていただき YMCA とより一層の信頼関係を築いて行けるよう努力する。

活動方針: YMCA 活動に楽しく参加し、YMCA と共に自ら進んで参加・行動していく。

活動計画: 京都 YMCA チャリティーラン支援/チャリティーゴルフ大会開催/YY フォーラム開催/ユースコンボケーション参加推進/京都 YMCA 運営寄付金・ユースワンコイン運動の実施/京都 YMCA 各事業への参加・協力

地域奉仕・環境事業主査 山田 隆之(京都キャピタル)

主 題: 次世代のために(環境・HIV/AIDS)

抱 負: 地域奉仕事業は奉仕クラブの根幹となる活動で、我々の存在意義が問われる事業です。我々が暮らす地域、或いはもっと広くグローバルな視点での地域に対して、奉仕活動が

展開できるお手伝いをしていきたいと思っています。又、地域奉仕事業はワイズメンズクラブの存在を外部にアピールできる事業でもありますので、他の委員会と共に各事業を積極的に広報していきたいと思えます。部の事業といたしまして、5 年継続統一事業「HIV/AIDS」の 4 年目になりますので、視野を広げて外部にも啓蒙し、部長方針に基づき各クラブ単独事業の協働化、環境問題への取り組みをベースにしたワイズデーの社会化に向けた取り組み等を進めて行きたいと考えています。

活動方針: ワイズを基本に少し外部に視野を広げる

活動計画:

- (1) 「HIV/AIDS」の啓蒙
- (2) 環境問題をベースにしたワイズデーの実施
- (3) CS ボウリング大会の実施
- (4) CS 献金 1,500円/人
- (5) TOF 献金 2,000円/人
- (6) FF 献金 800円/家族

EMC 事業主査 高田 敏尚(京都クラブ)

主 題: 引き続き「京都部 555」をめざします

抱 負: 西日本区の事業主任の主題が「思いやりの心で充実した例会 楽しいところに人は集まる」です。まったくそのとおりで、ワイズを楽しみ集まりにしていきたいと思います。楽しんでだけでなく楽しい面も。いつか終わる楽しさと同時に、内面から湧き起こる楽しさを追求していきましょう。うまく活動が継承されているクラブに学びながら、京都部全体が力をつけていけるようにと思っています。

活動方針: メンバーの幅をひろげ、楽しいクラブライフの推進につとめます。E と同時に C も大切で、例会の充実、出席率 100%をめざします。

2008 年 1 月で京都部メンバー 456 名です。「京都部 555」は決して高いハードルではありません。知恵と汗と熱い思いで、ぜひ実現させましょう。

活動計画:

1. メンバー増員(ドロップを防ぐ)「京都部 555」の実現のためにどのような工夫が各クラブでできているのでしょうか。
2. 各クラブ間の交流促進
 - (1) 合同例会を年 1 回は行いましょう。
 - (2) 各クラブの例会内容が事前にわかれば参加もしやすいと思えます。広報とも協力して、クラブ間の交流をはかります。
3. EMC シンポジウムの開催
メンバー補強にむけて経験を交流しましょう。
4. EMC 集計表の作成と西日本区への提出
各クラブの書記さん(EMC 委員長さん)月末には、各クラブの出席率を報告してください。そして、なるべくメーキャップがはかれるようご尽力下さい。

ファン事業主査 川嶋 宗男(京都ウェルクラブ)

主 題: 楽しもう、ファンド!

抱 負: 京都部の役員は初めてですが、楽しく事業を行ってほしいと思えます。地道な事業ですが、ファンド事業の献金を楽しく出来るように、一年間メンバーと共に理解を深め、事業活動を行いたいと考えますので、よろしく願いいたします。

事業方針: BF 1 人 \$ 15 (¥1,800)
EF 1 回 \$ 100 (¥12,000)

JWF 1回¥ 5,000

事業計画：使用済み切手の収集とカード等の収集も加えてアピールして行く。

BF, EF, JWF の理解を深め、クラブ目標を作ろう。

BF 代表を輩出するための、情報提供をする。

交流事業主査 森田美都子 (京都パレスクラブ)

主 題：今一度 reconfirm! 自クラブの IBC・DBC 活動を
抱 負：新規締結は最も望むところであり永遠の目標である
ことは云うまでもありませんが、今期は敢えて既存の締結ク
ラブとの行方を探求追求する事により「なおざりになっては
いないか我クラブの交流宝庫」を今一度 reconfirm (再確認)
と謳って行きたいと思えます。

活動方針：IBC・DBC 活動の各クラブ別現況把握／各交流委
員長への活動意識再活性化／未締結クラブへの情報発信／Y
EEP・STEP 事業の活性化

活動計画：各クラブの互いの年間計画を把握し交流プロセスレ
ポート等の公開を図る。／新規 IBC・DBC 締結を絶えずア
ピールし情報を提供する。／YEPP・STEP の受け入れリサー
チを常に働きかける。

広報事業主査 村澤 功三 (京都トゥービークラブ)

主 題：ちょっと寄ってみて、京都部 HP (ホームページ)！
抱 負：微力ですが頑張ってますので、1年間よろしく
お願い申し上げます。今やコミュニケーション手段の主流と
なっているインターネット、京都部ホームページをより手
軽に・身近に・日常的に・楽しく利用していただけるものにする
ための工夫を行います。

活動方針：部事業の円滑な情報発信／ホームページを活用した
対外的アピールとクラブ間の情報共有化

活動計画：部主査との連携強化による部事業のアピール
ホームページの内容充実による利用の推進

メネット事業主査 松村 智子 (京都めいぶるクラブ)

主 題：もう一度考えよう メネットの出来る事
抱 負：一人一人がワイズ活動を支援するメネットです。こ
の事を再認識し一人でも多くのメネットが集まり、親交を
深めていただきたいと思います。そして大きなパワーとなっ
て、メンと共にワイズライフを楽しみましょう。一年間どう
ぞ宜しくお願いいたします。

活動方針：・ワイズ活動への積極的な参加
・クラブ内・外のメネット同士の親睦、交流

活動計画：

- 1 国際、国内プロジェクト支援
- 2 京都部合同メネット会の開催
- 3 クラブ内のメネット会の充実と発展
- 4 「HIV/AIDS」へのサポート

京都キャピタルクラブ

YMCA サービス・ユース事業委員会 委員長 勝山廣一郎

* 事業方針

- ・会長主題に基づいてYサ・ユース事業を行う。
- ・25周年の節目、メンバー各位に対しYMCA サービス事業のプログラムに参加協力をアピールする。

- ・Yサ事業の体験を通じて、YMCA を、より広く、より深く理解を得られるよう共に学んで行く。
- ・コメントのユースコンボケーションへの参加を促し、参加費支援。
- ・YY フォーラムへの参加。
- ・ASF 献金の理解と必要性をアピール。

* 事業計画

リトセン夏の準備ワーク(6月29日(日)参加協力)、平和の集い(8月)、青い空と白い雲のキャンプ(8月23日(土)24日(日)参加協力)、リトセン秋の準備ワーク(9月7日(日)参加協力)、留学生ホームビジット(未定)、国際協力街頭募金(11月2日(日)参加協力)、リトセンオータムフェスタ(11月16日(日)参加協力)、YM・YW 世界合同祈禱週集会(11月)、会員クリスマス(12月)、クリスマスキャロリング(12月)、チャリティーコンサート(2月)、卒業リーダー祝会(3月8日(日))、チャリティーゴルフ(3月参加協力)、リトセン夜桜フェスタ(4月19日(日)参加協力)、YY フォーラム(未定 参加協力)、インターナショナルチャリティーラン(5月17日(日)参加協力)、125周年募金の継続、ASF 献金、ユースコンボケーションへの参加(コメント)、Yサー泊懇親会(オプション)、使用済みインクカートリッジの回収

地域奉仕・環境事業委員会 委員長 柳 慎司

* 事業方針

1. 山田地域奉仕・環境事業主査への全面的バックアップ
2. 前年度事業の継続と検討
3. 会長方針である、環境問題への取り組み強化
4. 新支援先への取り組み

* 事業計画

TOF・CS 資金・FF 献金・事業の実施、ふれあい広場・ベテスタ祭への支援、チャリティーボウリング大会への参加、環境問題を意識した活動及び例会の実施、「HIV/AIDS」活動の支援、「CO₂削減プロジェクト」の実施

ドライバー事業委員会 委員長 金原 弘明

* 事業方針

1. あくまでキャピタルらしく
伝統ある現在のキャピタルスタイルの例会運営を踏襲した上で、「楽しい例会とは何か」を再考し、会長主題及び活動方針に沿った例会運営を行っていく。
2. 25周年記念事業に貢献できる例会運営
25周年記念事業に向けて、皆が集う貴重な機会である「例会」の時間が、例年以上に大きな意味を持つことを認識し、メンバー全員の意識と絆を高めることのできる例会運営を行っていく。
3. メンバー増強に貢献できる例会運営
メンバー増強の為に、例会の持つ意味は非常に大きい。このことを再認識した上で、興味深い講演内容、ゲストの検討等メンバー増強に貢献できる例会運営を行っていく。

* 事業計画

1. 25周年記念事業へ向けて、例会プログラムの中に「25周年記念に関する報告」をする時間を設ける。
2. 「環境問題への取り組み強化」という会長の活動方針に則り、身近な環境問題とグローバルな視野での環境問題各々をテーマとした講演を計画する。
3. 25周年の区切りと新たな四半期に向けてのスタートである期(「Let's begin」)として、各例会をビデオに記録して残していく(ビデオ撮りがNGの講演があることは考慮する)。

交流事業委員会

委員長 幡南 進

*事業方針

IBC・DBC 活動の再確認を今一度
YEPP・STEP の推奨

*事業計画

- DBC について
今期は25周年例会日に合わせて、東京クラブとの DBC を行う。
京都観光・ゴルフ親善を充実し、更なる親睦を深める。
- IBC について
釜山ベゼルクラブを訪問する。
例会前後に親睦ゴルフ等を企画しクラブ内の交流を深める。
企画を充実させ、多くの参加者を募る。
- YEPP・STEP について
この事業の推奨を行い、積極的な参加を募る。
受け入れに対しても積極的に募る。
- 現在進行中の「緊急災害時マニュアル」の作成を継続。

ファンド事業委員会

委員長 吉井崇人

*事業方針

1. 「Let's begin」今期の会長主題に沿ったファンド事業を行う。
2. 他の委員会と連携し、楽しく無理のないファンド事業を行う。
3. メンバーに楽しんでもらいながらのファンド事業を行う。

*事業計画

25周年記念グッズ作成・販売、温泉旅行（積み立て式）、写真ファンド（25周年・クリスマス）、ジャガイモ・カボチャのファンド、EF・JWF への協力etc、BF1,800ポイントの達成

ブリテン・広報事業委員会

委員長 村田深砂子

*事業方針

「Let's begin」の主題のもと、個性あるブリテン創りを心がける

*事業計画

1. 原稿依頼者を予め決めておき記事の締め切り、発行の期日を守る
 - 各行事については参加者の中から書いていただく
 - 依頼者が当日欠席の場合はその人の後から書く予定の方と交代していただく
 - ヘッドは、その月の強化月間に基づいて委員長・会長に依頼する
 - 原稿の長さをヘッド800字程度、原稿400字程度で依頼する
 - 原稿依頼予定者は別紙
2. 「Let's begin(さあ はじめよう!）」をテーマにメンバー全員に書いてもらう
 - 今から（今期）何かをはじめよう（ワイズの事・仕事の事・プライベート）
 - 前からやろうと思いつながらまだ始めてなかったことなど
3. 新しく「耳寄り情報」欄を設け新規情報などは一目瞭然にする（国際大会のアピール・行事予定などブリテンに記載しなければならぬ情報や重要なお知らせを書く）
4. 地域奉仕の事業である CO₂ 削減の累積を記載する

EMC 事業委員会

委員長 大門 和彦

*事業方針

1. 会長主題の「Let's begin」～すべての共生に向かって～を基本に、メンバー間の団結力、互いの理解力をより一層高める。
2. 当クラブにふさわしい新入会員を増強すると共に、既存メンバーのノンドロップを目指す。

3. メンバー全員が EMC 委員会に所属していることを再認識し、積極的に事業に参加する。

*事業計画

○ 25周年事業にフォーカスした積極的な新会員募集

1. 25周年事業には、多くのメンバーゲストが参加して頂けるよう、積極的に呼びかける（PR する）。
2. 「例会出席率200%」を目標とするため、役員会で必ず報告する。
3. オリエンテーション開催日には、多くのメンバーの参加を呼びかけキャピタルクラブの素晴らしさを語って頂く。
4. 25周年事業時に「入会セレモニー」を行う。
5. 新入会員の歓迎会を盛大に開催する。
6. 今期増員数 5 名を目標とする。

メネット会事業計画

委員長 香山 慶子

*事業方針

- 会長主題に基づき、メンへのサポートを通して共に奉仕活動やクラブ行事に参加し、ワイズ活動を支援する。その中から、メン・メネットとのお互いの親睦を深める。

*事業計画

- 25周年記念事業に関して積極的に協力する
- 懇親食事会を開催
- メネットファンドの実施
- 京都部メネット会からの連絡報告等をメネット会へ伝達する
- 国際、国内プロジェクト支援
- 「HIV/AIDS」へのサポート



HAPPY BIRTHDAY



メンバー

神崎 清一 7. 8

メネット

内廣 嘉子 7. 22 柳 早知子 7. 29

コメント

田中 愛純 7. 3 幡南 玲奈 7. 8
山田 隆太 7. 19



HAPPY ANNIVERSARY



八木 悠祐・未穂 ご夫妻 7. 7



7月・8月予定抄

7月6日・13日 サバエワーク
7月31日～8月3日 国際大会
8月17日 JOCS コンサート
8月23日～24日 青い空と白い雲のキャンプ

聖句の解説 「説教される」というと、何か悪いことをして、しかられるという印象がありますが、キリスト教で説教という場合、それは聖書のことばの解説(解き明かし)を意味します。今月の聖句に書かれているように、神の言葉・聖書を通してイエス・キリストの教えを知る手がかりとなるものです。私たちは身体のために食物をとりまします。それと同じように人間は霊的な存在ですから、霊的な糧、それが説教によって与えられるものです。しかし一定の専門的な、またかなり聖書の勉強をした人が説教をしますが、それでも「土の器」である人間のやることです。神の霊、聖霊のたすけによって説教がなされるのであって説教者の思想、信条、ましてや個人的な趣味や感想を語るのとは違うものです。



ウエルネスのことを学びませんか？

岡本 尚男

エネルギー消費の削減が叫ばれ、医療費削減を視野に「メタボ」とやらも、検診の健康指標のひとつとなりました。これは食べ過ぎ・呑み過ぎ、運動不足が原因の多くを占めています。

元気で長生きすることは古今東西、昔からの人類の夢でした。その為には「心身共に健康」でなければなりません。仕事も家庭もそこに関わる人々が「心身共に健康」であることが基本です。ワイズ活動も論外ではありません。では「心身共に健康である状態」とは、どのようなことでしょうか。

そのことを学び、自分の生活にとりいれ、自分自身の生活スタイルを見直すヒントになるのが「ウエルネス論」です。かつてはワイズでも取組んでいました。このことを学ぶこと

を始めませんか。これが、大きくいえば地球温暖化防止と医療費削減に繋がり、貴方の人生と貴方を取り巻く多くの人が幸せになるきっかけとなるでしょう。

さあ はじめよう！

村田深砂子

あれもしよう。これもしよう。いつの間にか、思うばかりで先延ばしになっていて、気がつけば数年たってしまった。なんて事ありませんか？

私は、公私ともに、色々あります。プライダルコーディネータの認定をとうろと思ひ始めて早6年。パーティプランナーの認定をうけようと思ひ早10年。旅行業主任の資格をとうろと早8年。調理師免許の資格をとうろと早7年。ゴルフスクールに通おうと思ひ早2年…。全て教科書、申込書持っています。まだまだ一杯あります。

そこで、今年こそは、勉強をはじめ実践して行こうと決めました！ この年齢になると絶対必要でない中々勉強しないものです。

「まあいいか」を心より消し去り何か勉強を始めて、スキルアップして行こうと自分に言い聞かす今日この頃です。皆さんもそんな事ありませんか？

第3回次期役員会議事録

2008年6月24日(火) 20:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区

- ・西日本区費改定 ￥14,000より￥15,000に値上げ⇒区代議員会にて承認
- ・KOBE エイズフェスタ2008開催
2008年7月26日(土) 13:00~17:00 神戸国際会館9階

京都部

- ・ファンドBF \$15(¥1,800)に決定
- ・京都部会の会場費・事務費を部費で賄う件

YMCA

- ・リトセン夏の準備ワーク2008年6月29日(日)
- ・サバエワーク:7月6日(日)、13日(日)

三役会報告

- ・花見例会 ウェストクラブと合同で開催 2009年4月9日(木)
- ・CATT例会 祇園会館にて開催 2009年5月23日(金)

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース ・リトセン準備ワークの件
- 地域奉仕・環境 ・CO₂削減プロジェクトの実施
- ドライバー ・9月までの例会内容について
- 交 流 ・緊急災害マニュアル作成を継続
- ファ ンド ・BF1,800ポイントで確定
- 広報・ブリテン ・年間記事依頼の確定
- E M C ・今期増員5名

<審議事項>

- ・事業計画案 承認
- ・年間スケジュール案 承認
- ・予算案 今期決算の反映以外 承認

<25周年実行委員会>

- ・西日本区大会でのチラシによるアピールについて

第12回 役員会議事録

2008年6月24日(火) 19:00~20:00
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区

- ・区費を15,000円に改定の件
- ・国際大会支援金750万円の内250万円を今期会計より支出の件
- ・残500万円に関しては、次期より3年間会員より年額1,000円を国際大会支援金として徴収する件
→ 上記3件が代議員会で可決

<各事業委員会報告>

- 各事業委員会 ・事業報告 変更・修正点の報告
- 地域・環境 ・西日本区大会での受賞報告
- E M C ・例会出席状況報告 誕生日会の報告
- メ ネット ・メネット会より八木さんへ出産祝い
- 25周年 ・西日本区大会にて第一報の残全てを配布

<審議事項>

- ・八木さんお祝いの件
→ 1万円を支出(引継例会)したことを承認
- ・各事業委員会後期報告の件 → 承認
- ・後期会計報告の件 → 12回役員会費用を算入する前提にて承認

<その他>

- ・釣り同好会を正式なクラブの同好会として発足
会長 仁科さん 幹事 竹田さん
- ・堀さん追悼の意より、クラブからEF・JWFに献金してはどうか → 次期にて検討する

年間強調目標 P R

大衆が何を求めているのかを的確に捉え、現代の理想社会に必要とされているのがワイズの精神であるということ、一人でも多くの方々にとって頂きましょう。

中掘 清哲 広報事業主任
(鹿児島クラブ)

